

生活所得

世界の生産者の持続可能な生計を可能にする



世界では14億人以上の人々が極度の貧困の中で生活しており、その大半は農村部に住んでいます。生産者、農場労働者、農業コミュニティの生計は、世界で最も多様な生態系と密接に結びついているため、より良い生計を実現することは、人と自然が調和の中で繁栄する世界を目指す私たちの目標にとって重要な鍵となります。

生活所得の達成と持続可能な生計を可能にするための私たちのアプローチは、生産者が事業を成長させ、収益性と回復力を高めると同時に、自然資源を保全することに重点を置いています。2020認証プログラムでは、生産者がリスクを評価し対策を講じることができるようにするためのいくつかの新制度を導入することで、この点をさらに推進しています。また、企業にも自分たちの役割を担うことを奨励するために、責任の共有のアプローチを推進しています。

生活所得を可能にするための新しいアプローチとは？

低所得の問題に取り組み、持続可能な生計を支援するための私たちのアプローチは、これまででも、そして今も、生産者の事業の改善を支援することを中心とし、当然のことながら収益性と強靭さを高めていきます。私たちは、2020持続可能な農業基準の中で優れた農場経営と農業慣行を求めています。それだけではなく、生産者が自分たちの環境における経済的なリスクと機会をより総合的に見ることができるよう支援しています。同時に、生活所得との不均衡についてより透明性を高め、サプライチェーン全体で責任の共有を促進するために取り組んでいます。

新基準の農場要件では、いくつかのツールを導入することで、より良い農場管理に重点を置いています：

- **デジタル内部管理システム**は、農場レベルでの詳細なデータ収集を容易にし、農場の実績を分析し、より多くの情報に基づいたビジネス上の意思決定を可能にします。
- **農場リスク査定ツール**は、生産者団体責任者が構成員のリスク

生活所得とは？

生活所得とは、ある特定の場所に住む世帯が、すべての世帯員に適切な生活水準を確保するために必要な純収入のことです。適切な生活水準の要素には、食料、水、住宅、教育、医療、交通、衣類、その他の必要不可欠なものが含まれ、予期せぬ出来事を賄うために十分な金額が含まれます。食費や住居費、その他の必需品にかかる費用は場所によって異なるため、この金額は国や地域によって大きく異なります。十分な金額を判断するために、アンカー方法論に基づいてLiving Income Community of Practiceが算出した生活所得の基準を用います。

生活所得(生産者が得ている)と生活賃金(労働者が受け取っている支払い)には重要な違いがあります。[生活賃金に向けた取り組み](#)についてはこちらをご覧ください。

生活所得と持続可能な生計の違いは？

持続可能な生計を営むということは、生産者が生計を立てるための手段、能力、収入を持ち、自然資源を損なうことなく、現在および将来の不測の事態に対処し、回復することを意味します。生活所得を得ている生産者は、現在の基本的なニーズをすべて賄うことができます。しかし、持続可能な生計を得るためには、生産者が将来的にも生き抜くために必要な資金を確保するために、農場や事業に投資する必要があります。持続可能な生計を実現するためには、明日への強靭さを構築しながら、生産者が生活所得を得るための条件を整える必要があります。

とニーズを把握し、農場の実績と経済状況を改善するため個別の支援を提供するのに役立ちます。リスク査定の目標に基づいて、団体の**管理計画**に具体的な取り組みを提示します。

- 認証生産の**経費と利益**を評価し、生産者団体構成員の主な収

入源を明らかにするために、重要なデータを収集します。これにより、団体責任者は、事業の収益性を高める最善の方法を構成員に助言し、構成員にとって最適な**多角化戦略**を選択することができるようになります。

- **生活所得ツール**は、生産者団体責任者が構成員の純世帯収入を推計し、自国の生活所得の基準との差異を特定することを可能にします。このツールは現在、コートジボワールとガーナで利用可能であり、今後さらに多くの国に向けて開発される予定です。

また、持続可能な生産のリスクや経費、負担を生産者だけに負わせることのないよう、生計改善の責任はサプライチェーン全体で共有されなければならないと認識しています。そのため、2020認証プログラムでは、企業がより持続可能な生産に報い投資し、サプライチェーンから生産者への価値を高めることを奨励するために、責任の共有というアプローチを採用しています。そのために、企業は**サステナブル差額を支払い、サステナブル投資を行う**ことが求められています。

このようなアプローチをとる理由とは？

私たちの30年以上の経験と多くの研究から、持続可能な農業慣行と専門化された農場管理が、より良い生計に貢献することが分かっています。新しい認証プログラムでは、生計改善のためのより多くのチャンネルを創造しており、データはその中心的な役割を果たしています。**認証の再構築**に沿って、生産者のリスクやニーズを理解し、的を絞った支援を通じて農場経営を強化するために、より良いデータを収集し、提供しています。また、データを活用することで、生活所得の達成に向けた進捗状況を把握することも可能になります。

持続可能な農業慣行と責任ある商慣行が、生活所得の問題に取り組む上で重要な鍵を握っています。そのため、私たちは、企業が調達先の認証農場からの持続可能な生産を認識し、それに報いるための仕組みを用意しています。

従来の基準との違いは？

UTZ農園管理基準と2017レインフォレスト・アライアンス持続可能な農業基準は、いずれも生活所得の向上に向けた重要なステップを踏んでいます。どちらの基準も、生産性を向上し、気候変動への耐性をもち、所得を向上させる、より良い農業慣行の促進に焦点を当てています。UTZ農園管理基準には、持続可能な生産に報いるための必須のプレミアムも含まれています。

2020認証プログラムで以下のように進めています：

- **生産者のリスクとニーズをデータに基づいて評価する**：内部管理システムをデジタル化することで、農場団体責任者が全体的なリスク査定を簡単に行えるようになりました。これらの査定は、各農場の固有のニーズに合わせた農場経営計画の作成に利用されます。
- **進捗状況の測定**：私たちの新しい生活所得ツールは、リスクがある場所とより多くの投資が必要な場所を示しながら、時間の経過とともに改善を追跡するのに役立ちます。
- **責任の共有の奨励**：必須のサステナブル差額とサステナブル投資の導入は、生産者がより持続可能な生産に対して報酬を得られるようにするためのものです。

詳細について

詳しくは「[新しい認証プログラムについて](#)」をご覧ください。ご質問は、cs@ra.orgまでお問い合わせください。

認証の再構築

認証の再構築は、私たちの将来の認証制度に向けた長期的な展望です。そして、レインフォレスト・アライアンスの4つの主要な活動領域（気候、森林、生活、人権）を通じて変化を起こす為のより広範囲におよぶ戦略の一部なのです。

2020年6月、私たちはレインフォレスト・アライアンス2020認証プログラムの発表と共にその認証の再構築に向けた道のりの一歩を踏み出します。レインフォレスト・アライアンスとUTZが合併した2018年より、この新しいプログラムについて取り組んできました。

2020持続可能な農業基準を含む2020認証プログラムは、認証が作用の仕方そして認証を利用する世界中の人々と企業に価値を提供する方法に真の変化を起こす、またとない好機です。

2020年6月から2021年中旬にかけて、レインフォレスト・アライアンスは世界中で包括的な研修計画を含む新しいプログラムを本格的に展開していきます。新しい認証プログラムに対する審査は、2021年中旬より開始予定となります。

**RAINFOREST
ALLIANCE**

アメリカ：
125 Broad Street, 9th Floor
New York, NY 10004
tel: +1 (212) 677-1900
email: info@ra.org

オランダ：
De Ruyterkade 6
1013 AA, Amsterdam
tel: +31 20 530 8000
email: info@utz.org

f You Tube in | Rainforest Alliance
Twitter | @RnfrstAlliance
Instagram | @rainforestalliance

RAINFOREST-ALLIANCE.ORG